

あかしや通信

臨時号

令和8年3月11日
京都市立朱雀第四小学校
校長 岡西 容美

平素は、本校あかしや教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。12月に実施いたしました「第2回学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～」の結果についてお知らせします。今回の結果から見えてきた成果や課題については、全職員で共通理解し、良い部分は伸ばし、課題については改善していきたいと考えております。保護者の皆様には、引き続き本校あかしや教育にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～とは…

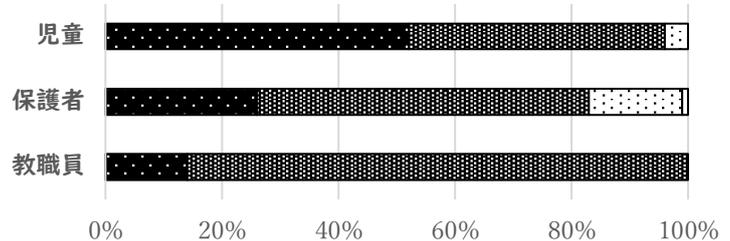
子どもたちの健やかな育成を目指し、学校教育活動・家庭・地域活動を通して、それぞれの立場から自らを振り返るものとして京都市で進められてきており、児童、保護者、教職員とで年に2回実施しています。今年度から、より自らを振り返ることができるようにアンケート項目を検討し、変更しました。「教職員は自らの教育活動や指導を振り返る」「保護者は自らの家庭教育を振り返る」「子どもたちは、自らの学習や活動に向かう学びの姿勢を振り返る」ことを通じて、お互いに高め合い、子どものよりよい成長につなげていけるようにと考えて取組を進めています。

よくできている だいたいできている あまりできていない できていない

【確かな学力】

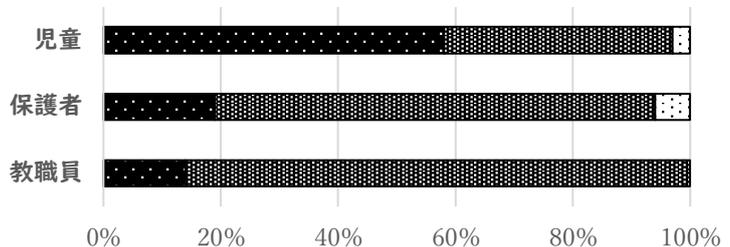
児童 : 「めあて」にそって学習し、自分の考えを書いている。
保護者: わが子は学習に対して、最後まで粘り強く取り組もうとしている。
教職員: 子どもが主体的に学習できるように、単元計画や支援の工夫をしている。

主体的に学習に向かう姿



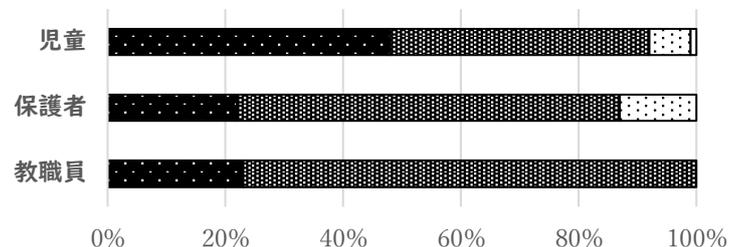
児童 : 友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしている。
保護者: わが子に相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりするよう働きかけしている。
教職員: 学習の中で、自分の思いや考えを相手に伝えられるよう授業を工夫している。

話を聞く、考えを伝える姿



児童 : 学習や学校生活の中で、よりよい自分になるために考えて行動している。
保護者: 家庭では、自分でできることは自分ですよう働きかけている。
教職員: 子どもが学校生活の中で、自ら考えて行動できるよう工夫や支援をしている。

自分から行動する姿

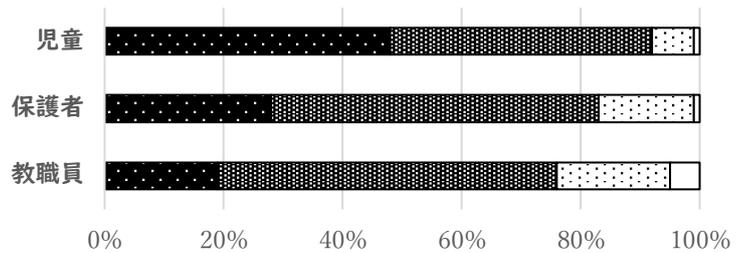


児童：宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。

保護者：わが子は宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。

教職員：子どもに家庭学習の習慣がつくように、宿題や自主学習の内容や取り組み方を工夫している。

家庭学習に取り組む姿

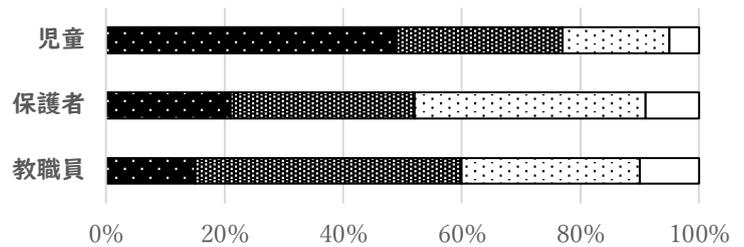


児童：学校や家で進んで読書をしている。

保護者：家庭では、わが子が本に親しむことができるように働きかけている。

教職員：子どもに読書の習慣がつくように、読書ノートの活用をするなど働きかけを行っている。

読書に取り組む姿



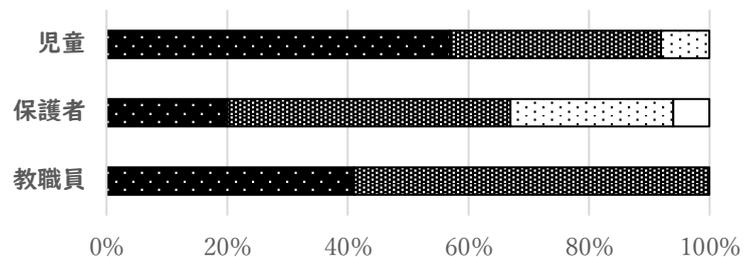
【豊かな心】

児童：自分からすすんで気持ちのよいあいさつをしている。

保護者：わが子は自分から進んであいさつをしている。

教職員：子どもが自分から気持ちのよい挨拶ができるよう、自らも意識して挨拶をしている。

あいさつをする姿

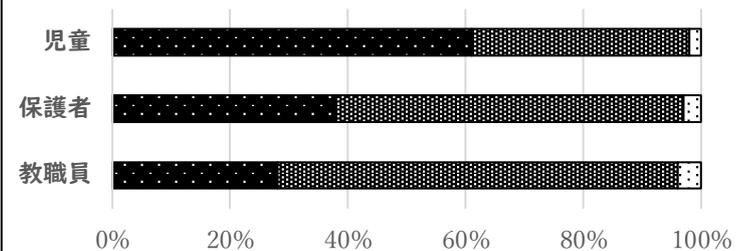


児童：友達の気持ちを考え、やさしく接している。

保護者：わが子は相手のことを思いやり、大切にしている。

教職員：自分も友達も大切にできるように、全教育活動を通して人権を意識した取組を行っている。

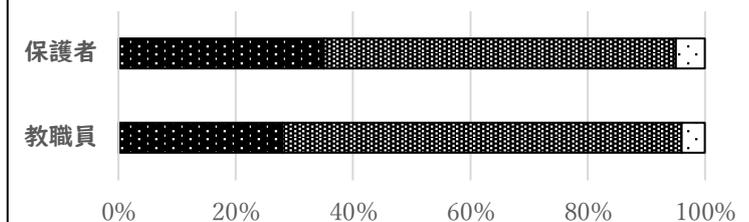
友達を思いやる姿



保護者：家庭では、わが子のよさを認め、伝えるようにしている。

教職員：発達支持的生徒指導に努め、子どものよさを認め、伝えるようにしている。

よさを認め、伝えることについて



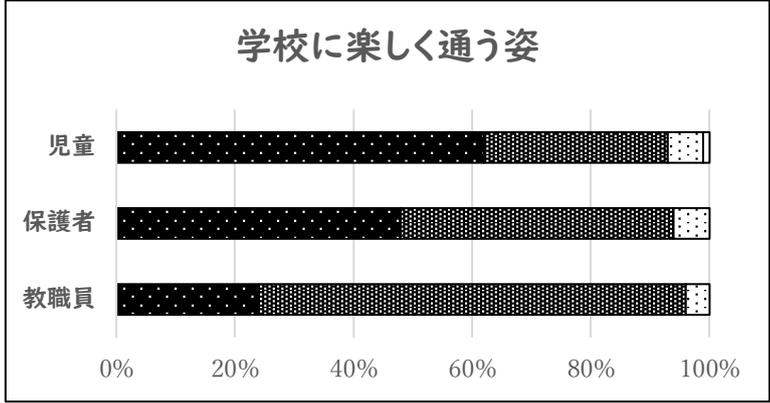
よくできている

 だいたいできている

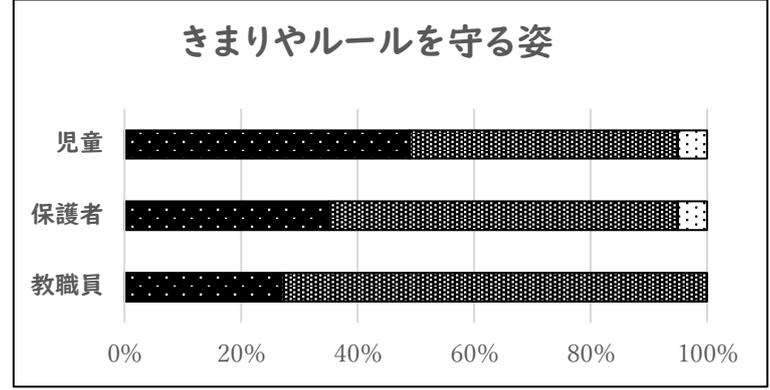
 あまりできていない

 できていない

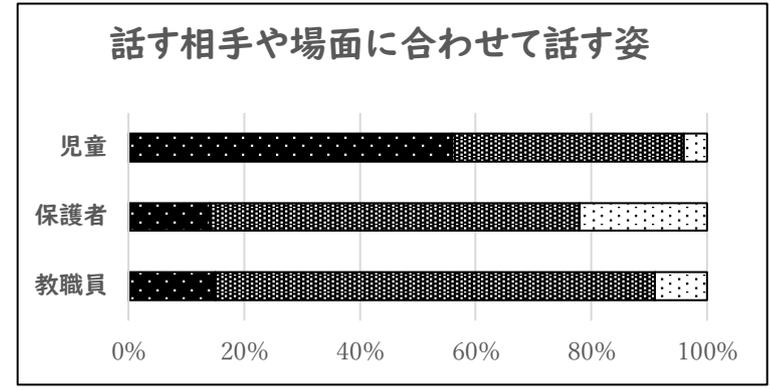
児童：毎日楽しく学校に通っている。
 保護者：わが子は、毎日楽しく学校に通っている。
 教職員：子どもが毎日楽しく学校に通えるように授業の工夫、生徒指導、人権教育の充実を心掛けている。



児童：学校や家でのルールを守って生活している。
 保護者：家庭では、学校のきまりや家でのルールを守るよう働きかけている。
 教職員：子どもが自分ごととして学校のルールを守ることができるように指導している。

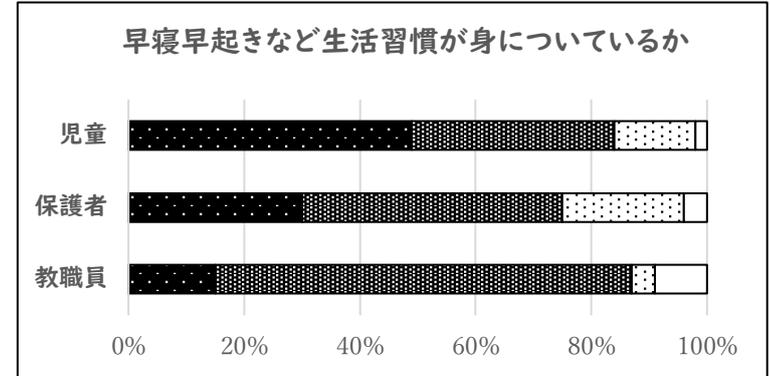


児童：話す相手や場面に合った話し方をしている。
 保護者：家庭では、相手や場面に合った話し方ができるように働きかけている。
 教職員：子どもが、話す相手や場面に合った話し方ができるように意識して指導している。



【健やかな体】

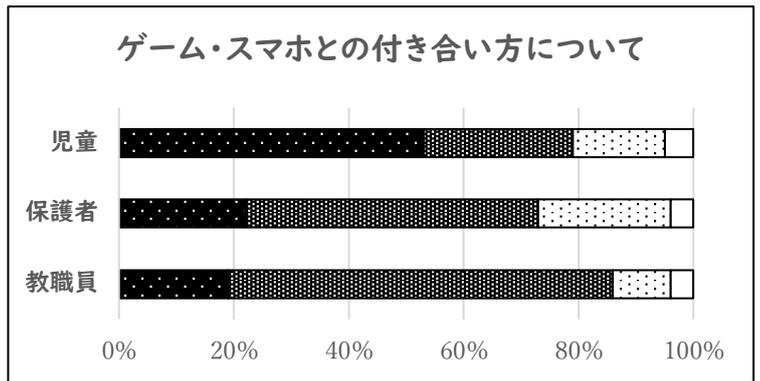
児童：「早寝・早起き・朝ごはん」に気をつけて生活している。
 保護者：家庭では、早寝早起きなどの基本的な生活習慣を身につけられるよう働きかけている。
 教職員：学級活動などを通して、早寝早起きなどの基本的な生活習慣の大切さについて指導している。



児童 : 家の人とスマホやゲームのルールを決めて、長時間使い過ぎないようにしている。

保護者 : 家庭ではゲーム、スマホ等の使い方やルールについて話し合う機会を設けている。

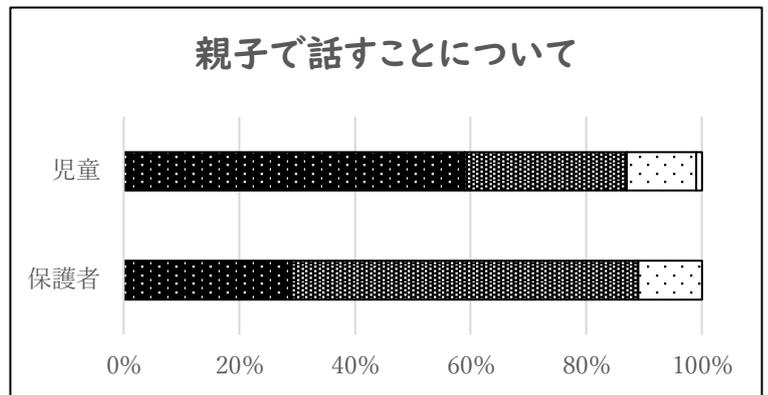
教職員 : ゲームやスマホを使う際のルールや、長時間使用することの心身への影響などについて情報モラル教育等を通して指導している。



【いじめの防止について】

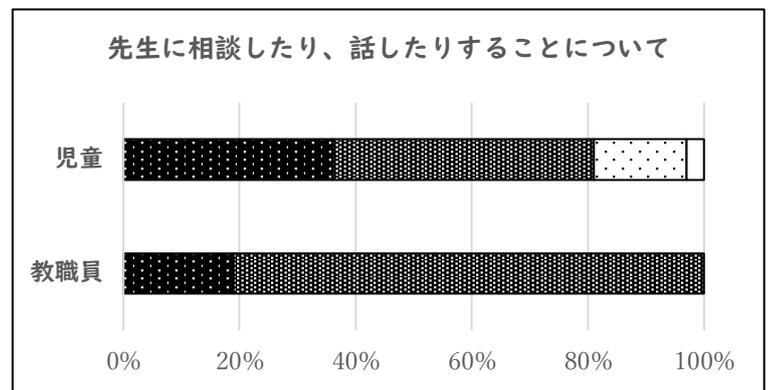
児童 : 家の人とその日の出来事や学校でのことについて話をしている。

教職員 : 家庭では、子どもと話す時間を大切にしている。



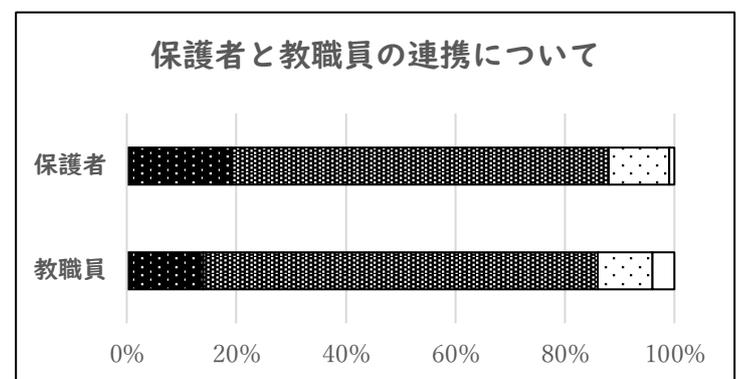
児童 : 先生にいろいろなことを話したり、相談したりしている。

教職員 : 子ども一人一人の話を聞いたり、子どもが相談しやすい雰囲気をつくったりしている。



保護者 : 保護者と教職員との連携ができています。

教職員 : 適宜、適切な方法で、教職員と保護者の連携ができています。



【学校独自の取組】

児童：環境にやさしい行動をしている。

保護者：家庭では、環境にやさしい生活を意識するよう働きかけている。

教職員：全教育活動を通して、子どもが環境にやさしい行動をとることができるよう工夫している。

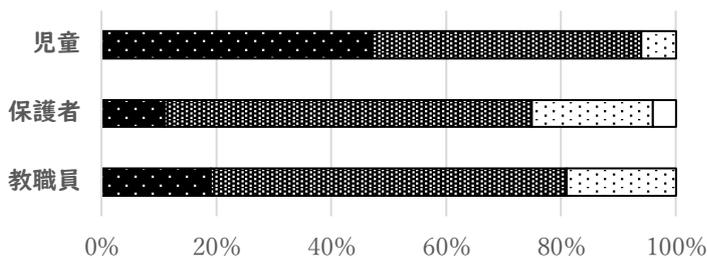
保護者：子どもの学習ノートや学校からのお便りなどで、学校でのわが子の様子を把握しようと心がけている。

教職員：学校からのお便りやホームページなどで学校の様子を発信している。

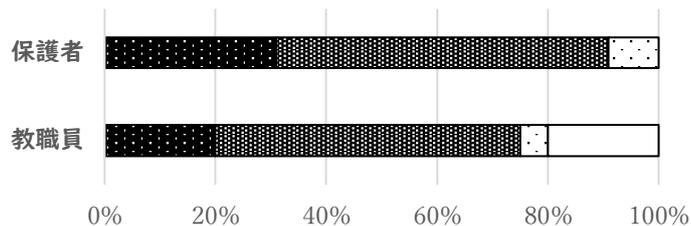
保護者：学校行事やPTA活動に参加するよう心がけている。

教職員：学校と保護者、地域との連携を大切に、PTAや地域の方の活動等について把握しようと努めている。

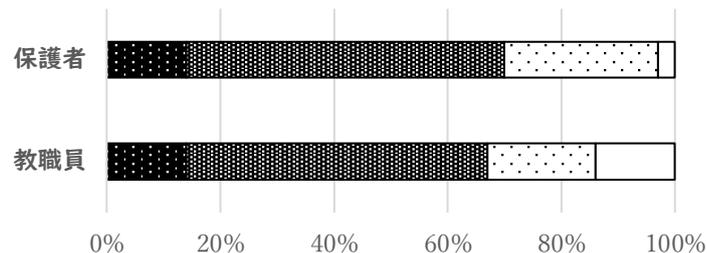
環境を大切にする姿



お便りなどで学校の様子を知る、知らせることについて



PTA・地域との連携について



学校教育目標

自ら学ぶ朱四舎の子 ～豊かな心を育み、生きる力を育てる～

めざす子ども像

あ あいさつをする子 【自らあいさつができる子】

か かんがえる子 【あらゆる角度から、総合的に深く考える子】

し じぶんから行動する子 【課題解決に向けて主体的に活動する子】

や やさしい子 【人も自然も大切にできる子】

本校では上記の学校教育目標を掲げ、子どもたちの自己肯定感や自己効力感、自己有用感を高めていけるよう学力向上、人権意識向上、生活向上等さまざまな角度から取組を進めています。

アンケートの結果から

あいさつの項目におきましては、前期に引き続き、後期でも児童アンケートで90%以上の子どもがよくできている・大体できていると回答しています。地域の方からも登校時に元気な声で挨拶する児童が増えてきていると話をいただいております。ただ、保護者の方はよくできている・大体出来ていると回答された方は約67%にとどまっています。学校でも相手に伝わる声で、顔を見て、自分からあいさつできるようにと学級で指導しています。引き続きご家庭でもお声かけください。

「かんがえる子」については、『めあて』に沿って学習し、『ふりかえり』で自分の考えたことや学習したことを書いている（自分の考えたことや学習したことを書いている）」（約96%）、「友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしている」（約97%）、「学習や学校生活の中で、よりよい自分になるために考え行動している」（92%）と、どの項目も前期に引き続き9割以上の子どもがよくできる・だいたいできていると答えています。学校でも学習の中で、「学び合い」の時間を多く取り入れ、友達に自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりする活動を続けてきました。意欲的に友達と意見を伝え合い、自分の考えを広げたり、深めたりする姿が見られます。今後もお互いの考えを伝え合い、自ら主体的に学ぶことができるように学習指導を行っていきたいと考えております。

「毎日楽しく学校に通っている」の項目では約93%の子ども、約94%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答されています。例年、この項目では前期よりも後期の方が下回る結果となりますが、今回は前期と同じ結果となりました。今年度は異学年が交流する「たてわり活動」の取組や、通常より10分長い「ロング昼休み」の中で、子どもたちが思い思いの過ごし方で楽しんだり、上級生が下級生をリードしたり、下級生が上級生を頼ったりする姿が多く見られています。今後も子どもたちがいろいろな場面で、自分自身を振り返ったり、自分のことを考えたり、友達と教え合ったりして、よりよく毎日を過ごすことができるよう取組を進めてまいります。全ての子どもたちが学校は楽しいと思える学校運営に努めていきたくと考えておりますが、そのためには学校と家庭との連携が不可欠です。気にかかることやご不明な点がございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

一方で、「宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる」の項目では、約13%の子どもがあまりできていない・できていないと答えています。これは前回より6%低くなっています。また、「家の人とスマホやゲームのルールを決めて、長時間使すぎないようにしている」では約21%の子どもがあまりできていない・できていないと答えています。家庭学習の進め方やメディアとの上手な付き合い方について、学校でも継続的に指導していきます。「短時間でも、毎日決まった時間に机に向かう習慣づくり」や「スマホ・ゲームの使い方についてのルールづくり」など、ご家庭でも話し合ってください、お子様が安心して学習に取り組める環境を整えていただければと思います。

今後も、ご家庭と学校が協力しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたくと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

学校評価アンケートをうけて、朱雀大路コミュニティ理事会で話し合いを行いました。

本校では、地域の方・保護者の方・学校教職員で組織された学校運営協議会（朱雀大路コミュニティ）を年間3回行い、「どのような子どもを育てていくか」「そのために何ができるか」を考え、話し合っています。2月13日（金）に理事会、18日（水）に総会を行い、学校評価アンケートをもとに、子どもたちのために来年度に向けて教育活動で何ができるか等について話し合いました。メディアとの付き合い方について「子どもがどのようにスマホを使ったり、ゲームで遊んだりしているか把握できていないことがある。子どもが授業等で学ぶ機会のほか、親も学ぶ機会があるといいと思う」、あいさつについて「子どもたちが自分たちから挨拶できることがとても気持ちいい、続けてほしい」などの意見をいただきました。

なお、今年度もアンケートの自由記述欄に、学校の取組や健康診断、冬場の体育時の服装についてなど、ご意見をいただきました。それぞれのご意見を真摯に受け止め、今後のあかしや教育に活かしていきたいと考えております。